2016.08.01

第 11 回映画カフェ　アンケート集計結果

□開催日時：	2016 年 7 月 30 日（土）13:30-
□会場：	OCC 8F チャペル（上映会）、8F ロビー（カフェ）
□上映映画：	**『普通の人々』**　　1980 年(米)　監督：ﾛﾊﾞｰﾄ・ﾚｯﾄﾞﾌｫｰﾄﾞ
□ナビゲーター：	小川　政弘 氏
□参加者数：	68 名　（前回は 83 名）
□新規パートナー数：	5 名
□アンケート回答者数：	36 名

■感想

＜小川さんの解説＞

・小川さんの解説やカフェで一緒になった方々の話をきいたことで、映画の解釈の幅が広がりました！最高です！ありがとうございました！
・映画は心に沈みました。小川さんの解説、心にひびきました。全てが神さまからのメッセージでした。この働きのために心より祈ります。
・小川先生の話はとても良いです。自分の知らなかった映画が毎回見られて楽しみです。
・映画の内容理解出来ました。又、小川様の解説も判りやすく良かったです。
・映画の前に小川さんの話があり、後の映画が大変に楽しく待ちどおしく思いました。
・小川さんの解説があったので、自分とは違う観点からのお話が聞けてよかった。また、テーブルグループで年齢差があったので見方が全然違うなと思った。また参加したいです。
・映画とても良かったです。家族との関係性についていろいろ考えさせられました。家族間でも言葉で伝えないと分からない事があると、しみじみ感じました。小川先生のキリスト教観点からの解説もよかったです！

＜カフェタイムについて＞

・カフェタイムの場所がちょっとうるさいと感じた。会話しにくい。スタッフが率先してしゃべり倒すテーブルだったのが少し気になった。
・分かちあいの発表は無くても良いと思います。作品のレベルの高さは堪能致しました。
・自己紹介、交わりのカフェタイム用の名札か何かがあればいいと思いました。とても楽しい時を過ごすことができました。次回もまた参加したいと思います。

＜映画の内容について＞

・私は二人の息子がいます。母親は同じに育てていても息子は「お母さんはお兄ちゃんが好き？ぼくが好き？」と言われた事を思い出しています。良い映画でした。
・家庭の中に入ってみないと外見からは分からないと思いました。
・重かった。でも医者もそうだが、彼女（合唱のところ「ハレルヤ」コーラスで知りあう）も彼の救いになったのが、ほっとした。
・母親が息子の死を受け入れられない。受け入れがたいものを受け入れる事のむずかしさがよくでていた。
・とても考えさせられる映画で、親の偏愛と罪責感に悩む主人公の心情の変化、葛藤に心が苦しくなりましたが、どこの家庭でも大なり小なりあることだと思いました。果たして自分の家族はどうだったのか内省しました。
・非常によい映画でした。人間の様々な問題について考えるよい機会でした。罪責感、孤独、怒りが人を病ませることがわかりました。イエス様が最高のカウンセラーです。

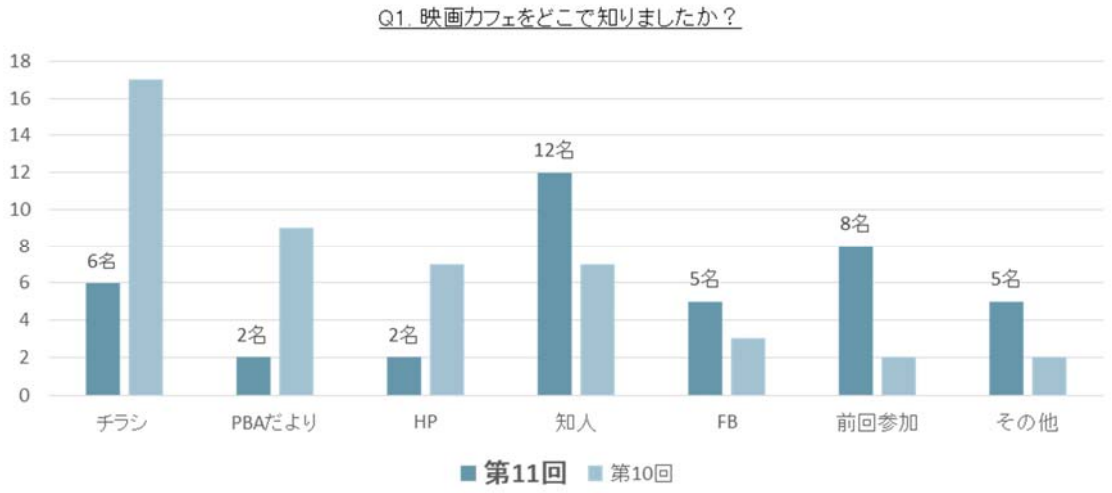
＜イベントへの感謝＞

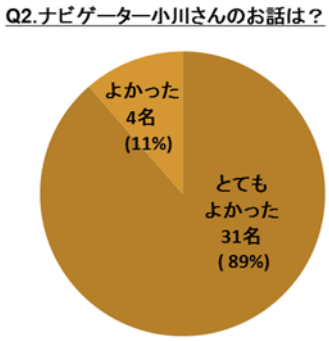
・映画を通して自分に必要を与えて下さる恵みに感謝します。
・現在大学４年生で、進路を考えるなかでPBAのHPからこのイベントを知りました。参加できてとても良かったです。「進路」からこのイベントに導かれ学ぶことができて、神様の計画の豊かさを感じさせられました。ありがとうございました。働きが用いられますように。
・とても楽しかった。良い交わりもできました。
・楽しい集まりに参加させて頂き感謝です。
・ありがとうございました。
・この様なオープンな会を提供して下さり本当に感謝です。ありがとうございました！

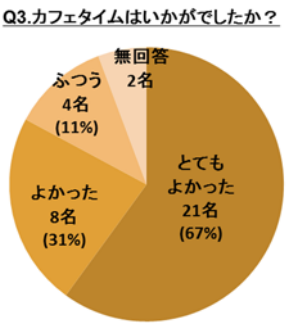
＜その他のコメント＞

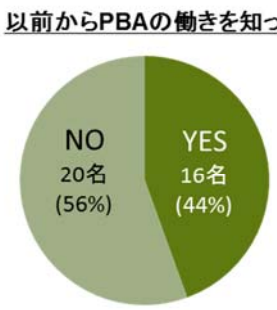
・会場の冷房がききすぎていたように感じます。
・月曜日なので牧師さんがタダというのがおもしろかったです。WTPの宣伝もしてほしかったです。
・「世の光」を聴いてみたくなりました。

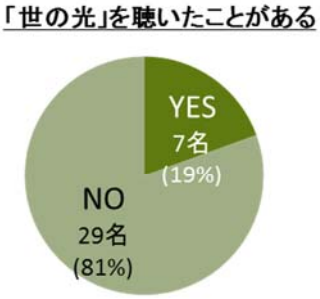
■その他の質問

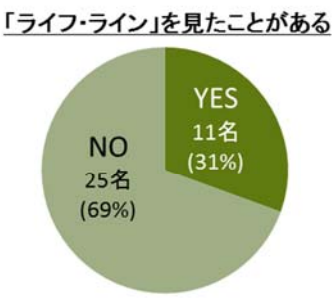

Q1. 映画カフェをどこで知りましたか？
18
16
14
12
10
8
6
4
2
0
6名
2名
2名
12名
5名
8名
5名
チラシ
PBAだより
HP
知人
FB
前回参加
その他
第11回
第10回


Q2.ナビゲーター小川さんのお話は？
よかった
4名
(11%)
とても
よかった
31名
(89%)


Q3.カフェタイムはいかがでしたか？
無回答
2名
ふつう
4名
(11%)
よかった
8名
(31%)
とても
よかった
21名
(67%)


以前からPBAの働きを知っていた
NO
20名
(56%)
YES
16名
(44%)


「世の光」を聴いたことがある
YES
7名
(19%)
NO
29名
(81%)


「ライフ・ライン」を見たことがある
YES
11名
(31%)
NO
25名
(69%)